

あさみなみ

令和5年2月1日発行

発行：広島市安佐南区
スポーツ推進委員協議会

発行責任者：会長 中村 靖

編集：広報部

第28回広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバル



令和4年10月9日(日)、広島広域公園ほか12の会場において広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバルが開催されました。

8区対抗の交歓競技、レクリエーション運動会では、各区の代表選手が熱戦を繰り広げました。今年の結果は南区

が優勝、安佐南区は健闘及ばず8位でした。

また、スポーツ交流会やレクリエーション体験会など、一般の方が参加できるスポーツも豊富です。時折、雨の降る中、スポーツ推進委員は競技の運営やサポートを行いました。その中で、ニーススポーツ体験の「モルック」と「アクティブチャイルドプログラム」について紹介します。

【モルック】

モルックは、フィンランドで27年前に開発されたスポーツです。1〜12の数字が書かれた木製のスキットルをボウリングのピンのように並べ、モルックという木製の棒を投げて獲得した点数を競うスポーツです。

今回は体験会という事で、一人4回投げて倒れたスキットルの本数や得点で競いました。27人の方が参加されましたが、ほとんどの方が初めての体験でした。

1本狙いの高得点が獲得できた時

は大盛り上がりで、多くの参加者から「楽しかった、またやりたい」と言っていただけでした。



【アクティブチャイルドプログラム】

アクティブチャイルドプログラムは、「いっぱい動いて、いっぱい笑おう!」をテーマに掲げて、日本スポーツ協会の岩崎講師を中心に、スポーツ推進委員7名がサポートしました。

このプログラムはスポレクでは初めての試みのため、何人の参加があるか不安の中でのスタートとなりましたが、1回約30分間の構成で午前2回、午後3回の開催を目標にスタートし、10名前後集まったら、その都度開催しフル回転、合計9回、138名の方々が参加されました。参加者は子どもが中心ですが、親子で参加された方も多数お

られました。

内容は、ストレッチから始まり、「後出しジャンケン」や「言いつこと一緒」など、頭の体操やフラフープでの輪くぐりの後にチーム競技、中でもボール集めとコーン起こしが盛り上がりました。

ボール集めは、新聞紙を丸めてガムテープで包んだ手作りボールを拾い集め、相手コートに投げ合う競技、コーン起こしは、コーンを倒すチームと起こすチームに分かれて行う競技で、ルールは簡単でも、制限時間の約1分間は動きまわるハードな競技で、参加者から充実感・達成感を感じました。



ニーススポーツ体験を通して、スポーツによる市民交流の場の提供と、豊かなスポーツライフのきっかけ作りになったのではないかと思います。

祇園町民軽スポーツ大会開催！

令和4年10月23日（日）秋晴れの空のもと、祇園町民軽スポーツ大会が原小学校体育館でミニテニスを種目に行われました。

ミニテニスは、テニスラケットを小さくしたものと、ビニール製の大きなボールを使い、バドミントンコートでプレーし、シニアから若者までお互いの年齢や体力に合わせてゲームを楽しむことができるスポーツです。

今回は原、原南、祇園、長東西、山本が各1チーム、春日野が2チーム、そしてスポーツ推進委員の合計8チームで2試合ずつ行いました。



初心者、経験者が入り混じり、笑顔で盛り上がるともに準決勝と決勝では段々と白熱していききました。固唾をのんで見守る人、声を出して応援する人、ファインプレーや長いラリーには大きな拍手。参加者のみなさんが楽しまれている様子を見ると嬉しくなりました。優勝は祇園地区でした。

これからも地域の皆さんが笑顔で元気になっていただける行事を企画運営し、参加していただけるよう、研修会など積極的に参加し活動していきたいと思います。

令和4年度広島県女性スポーツ推進委員研修会

令和4年10月29日（土）戸河内ふれあいセンターにおいて、広島県女性スポーツ推進委員研修会が開催されました。

広島県内から、250名を超える参加があり、午前に東京パラリンピックやり投げ競技で、6位入賞された、白砂匠庸（しらまさたくや）さんの講演、午後はチームライフル射撃競技体験と、広島東洋カープが取り組んでいる、中学生女子選抜チームのオール広島ガールズの取り組みを聞きました。

白砂さんの講演は「挑戦、自分の

障害を力に」の演題で、4才の時に農機具で左手首をなくされ、中学、高校時代に素晴らしい恩師と出会い陸上に誘われ、パラリンピックを目指すことになったそうです。

やり投げでは、困難を克服するアイテムとして義手の存在が大きく、それにより身体のバランスがとれ、好記録が生まれたとのこと。義手も身体の一部であると言われており、義手の使い方これから記録をもっと伸ばし、24年パリパラリンピックを目指して頑張っていきますと締めくくられました。

飽くなき探求心と前向きな姿勢を見習いたいところです。

次にチームライフル射撃体験では広島県立加計高等学校の生徒さんが実演をしてくださいました。

チームライフルとは、普及用に関発されたチームライフル銃を使用する競技です。

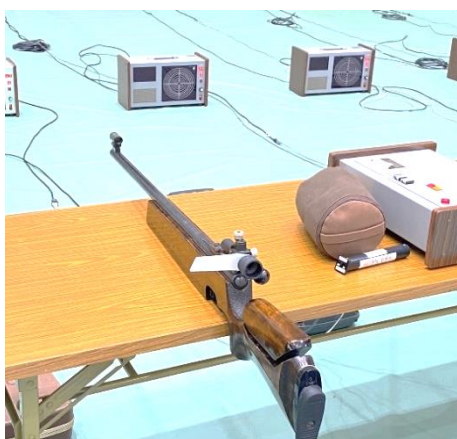
標的までの距離は10mで、標的の黒い丸を狙います。標的の中心にある10点の大きさは1mmで、この中心に光線が当たると、得点表示装置に点数が表示され、10点に当たると標的の上部にある王冠ランプが赤く点滅します。引き金を引くときに、少しでも動くと10m先では大きく外れてしまいます。そのため、銃をしっ

かり固定させる姿勢をとることが重要であると感じました。簡賀にある「つつがライフル射撃場」で体験出来るということなので、興味のある方は行ってみてください。

最後、オール広島ガールズの話ですが、女子は小学校で野球をやっても中学で辞めてしまう子が多いため高校までずっと野球を続けられるシステムが必要でその環境作りを広島東洋カープ球団がサポートしているという話でした。

この取り組みにより、中学、高校に進学しても野球を続けられるということなので、野球女子にとって希望ある取り組みだと感じました。

研修会を通して、パラオリンピアンの講演と、チームライフルを体験でき、大変有意義な一日でした。



全国スポーツ推進委員連合功労者 表彰受賞にあたって 宮本 信次



令和4年11月17日(木)・18日(金)に滋賀県で全国スポーツ推進委員連合功労者表彰式が行われました。

スポーツ大好き人間の私にとって、光栄で名誉な事と思っています。

また、諸先輩方のご指導、仲間達のご協力のお陰と感謝しております。

今後も、地域の皆様にスポーツの楽しさを伝え、健康増進と地域コミュニティの発展に貢献できればと思っています。



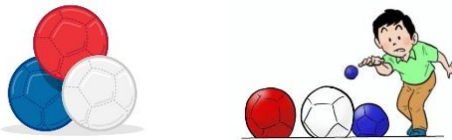
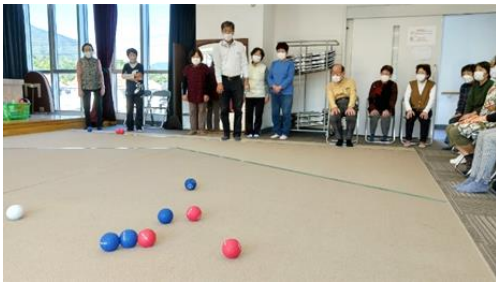
大原いきいきサロン(伴地区) 『ボッチャ指導』

令和4年10月13日(木)13人の参加者がボッチャを体験しました。

スポーツ推進委員が投げ方の見本や戦略を説明し、皆さんが段々と興味を持たれ、引き込まれていくのが伝わってきました。

参加された皆さんは、思っていたよりルールも覚えやすく続けて出来そうだと喜んでおられ、今後も社会福祉協議会から道具を借りて続ける話で盛り上がっていました。

依頼があれば、スポーツ推進委員が指導することも可能であり、地域とスポーツ推進委員が連携してイベントを行う良いきっかけになりそうだと感じました。



毘沙門台でウォーキング指導

令和4年10月21日(土)快晴の中、20人の参加者がウォーキングをスタートしました。

毘沙門台小学校周辺は、公園もあり、景色も良く歩きやすいコースでした。参加者からは多数の質問があり、意欲的な参加者の皆さんが多く、活動を楽しみにされていると感じました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、ウォーキング講習会は久々の開催となったため、参加者は以前より少なくなっているとのことですが、スポーツ推進委員と地域とが繋がりを持てるイベントなので、地域が活性化されるよう引き続き支援していきたいと思っています。



親子三代ふれあい 安東学区グラウンドゴルフ

安東学区町民グラウンドゴルフ大会が3年振りに11月20日(日)に安東小学校で行われました。

晴天にも恵まれ、小学3年生から高齢は92歳の方まで100名ほどの参加があり、久しぶりに大規模な交流になりました。

ホールインワンも29回有り、皆さんかなりの腕前でした。初参加の方も教えてもらいながらホールをまわり楽しい時間を過ごしました。



安佐南区民交流駅伝大会

2年ぶりに開催！

親子・仲間・笑顔で

たすきリレー

令和4年12月4日(日)に第23回安佐南区民交流駅伝大会がエディオンスタジアム広島及び周辺コースで開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響により開催が危ぶまれましたが、39チーム、234名のランナーのエントリーがありました。

スポーツ推進委員にとっても2年ぶりの開催であり、感染症の予防対策として、もはや新たな日常となった三密の回避・こまめな手洗い・指の消毒、マスクの着用そして各自の責任による体調管理の徹底を講じ大会に臨みました。

大会当日は雨天が予想されましたが、くもり空でも時折晴れ間がのぞく中で開会式が進められ無事レースは開始しました。

選手は学校や会社あるいは地域などチーム6人で編成された老若男女で、純粋にタイムを求め競うアスリートから「コミュニティ」という名のたすきを繋げることを目的とする親子や仲間などそれぞれの思いを含め

て走っていました。

また、スパイダーマンを装うランナーの登場もあり大いに盛り上がりました。

来年こそは新型コロナウイルスが終息し、本大会が引き続き盛大に開催されることを願います。また、今後ともスポーツ推進委員として大会運営に関わっていきたいと思いました。



大会結果

(学区代表の部)

優勝 「祇園学区陸上部」

準優勝 「春日野学区体育協会」

第3位 「毘沙門台学区」

(一般の部)

優勝 「パンパカパンパズ」

準優勝 「沼田高校陸上部OB」

第3位 「シバキックランナー」

(パフォーマンス賞)

「チーム柳川」

安佐南区スポーツ推進委員 交流会(カローリング)

令和4年10月29日(土)、安佐南区スポーツ推進委員会交流会を佐東地区が担当し、場所を広島市立八木小学校体育館で開催しました。

種目は、ルールも簡単で、参加者のほとんどがあまり経験していない「カローリング」を行いました。

冬季オリンピック競技の「カローリング」と言えば認知度は高いですが、その競技をフロアで手軽に行え、簡単なルールと使いやすい用具で、特別な技術も力も必要としないインドアスポーツが「カローリング」です。

当日は推進委員の参加者43名がコ

ロナウイルス感染症予防のため、常時マスク着用でのプレーでしたが、すぐにコツと距離感をつかみ、盛り上がりを見せる中、交流会を終えることが出来ました。



編集後記

昨年夏以降、地域での各種行事やイベントも増え、日常を取り戻してきたように感じます。

今年こそはコロナ禍という長かったトンネルから抜け出す年となることを期待したいところです。

そして市民の健康志向の高まりなどを後押しするため、我々、スポーツ推進委員がスポーツの持つ「力」を広めることにより、人と人の交流を絶やすことないよう地道に活動していきたいと考えています。